

豊岡市官民共創事業提案募集シート

タイトル	出産直後の家庭における負担感の軽減に向けた取り組み
現状	・ 出産直後（※）の母親は、特に疲労感が強い時期であり外出しづらい状況にあるとともに、様々な理由で心も体も不安定になりがちな時期でもある。 ※出産～１か月検診～産後４カ月 ・ 市は、産前産後の家庭への支援として、心身の不調などにより子どもの養育に支障がある方等を対象に産前産後サポート事業（家事援助のヘルパー派遣）を行っているが、ヘルパー人材が不足しており、ニーズに対して十分なサービスを提供できていない。
解決したい課題、取り組みたい事業について	出産直後は、特に疲労感が強い時期であり、外出しづらい状況にある。家庭の日中家事（生活必需品の買い物や食事の準備など）を行う人（サポートをお願いできる人）がいない家庭では、母親の買い物や食事の準備などの家事負担が大きい。 赤ちゃんとの新しい生活をスタートする家庭が、親子ともに健やかに過ごせるよう、出産直後にサポートを必要とする家庭の家事負担を軽減する取り組みが必要である。
めざす姿・ゴール	出産直後の家庭が、時間と心のゆとりをもって、子どもと一緒に過ごすことにより、子育てに喜びを実感し、子育ての負担感の軽減につながっている。
既存事業（取り組み）の概要	【現在の取り組み状況】 産前産後の家庭への支援として、産前産後サポート事業（家事援助のヘルパー派遣）を行っている。申請により、支援プランを作成するとともに、委託先のヘルパーを確保したうえで、事業実施を行っている。（１日１時間 週１回程度） <u>産前産後サポート事業</u> https://www.city.toyooka.lg.jp/kosodate/kenkokenshin/1007330.html 【問題点】 産前産後サポート事業のヘルパーは、市内の事業者へ委託している。受託事業者は、高齢者介護のヘルパーも担っており、人材が不足している。
その他 （共有事項等）	・ 一部の市民の声や子育て中の職員へのヒアリングで把握した課題であり、実際はどれだけのニーズがあるのか不明。 ・ 市内で配食サービスを行っている事業者はあるが、子ども向けメニューが少ない。
参考資料	有 ・ 無
ステークホルダー （関係者・関係団体）	市内飲食業者、市内配送業者、小売店
企業に求めるもの、 期待すること （資金・人材・技術など）	出産直後の買い物や食事の準備に対する負担感を軽減させるサービス・仕組みの提案
提案要件	市の予算化は想定していない

募集期間	2025 年 1 月 7 日～2025 年 6 月 30 日
民間事業者へのメッセージ	毎日ではなく、週 1 日でもサービスがあれば、負担感の軽減につながります。ぜひ、民間事業者の方の力をお貸しください。
部署名	こども未来部こども未来課